



# 佐渡 Kids 生きもの調査隊 田んぼ日記

# 4月18日 田んぼの準備・種まき



レポート：結仁、周人、瑛尚、陽士



2人1組で種まきをします



穴に種もみを入れていきます



苗箱1枚の穴はなんと448個！



これをひとり1箱やりました！

種まきでは、田んぼに植える稲の種もみをポット用苗箱にまきました。ポット用苗箱にはあらかじめ土が半分目まで入っています。そこに3・4粒の種もみを手作業でまいていきます。ひとつの穴にたくさんの種もみが入ってしまい、難しかったです。その後に、土を穴の上まで入れて完成です。その時、盛り上がっている土をならすのが、とても楽しかったです。

# 5月23日 田植え・生きもの調査



レポート：翔太、結衣、虹湖、真帆



今日はあいにくの冷たい雨



田んぼの泥もひんやりひやひや



雨でも生きもの調査はやりたい！



種まきした苗はこんなに立派に

自分たちでまいた種もみから育った苗を、田んぼに植えました。植えるとき、田んぼの土がぐちゃぐちゃして足がはまり大変でした。でも植えた後には達成感がありました。生きもの調査では、カエルやメダカがたくさんいました。これから生きものがもっと増えて、トキが田んぼにたくさん集まって来てほしいと思います。おいしいお米が食べられるように、お世話をがんばります。

# 6月13日 とことん田んぼの生きもの調査

レポート：芳徳、陽毬、李星



ここから生橋まで30分山登りです



高野さんの生まれたお家で話を聞きます



あちこちの田んぼで生きもの探し



今度は丸一日遊びに来たいね

生橋<sup>はえつばき</sup>の高野さんの田んぼに、生きもの調査をしに行きました。高野さんは生橋<sup>はえつばき</sup>の歴史についても話してくれました。生橋<sup>はえつばき</sup>の田んぼは、いろいろな形があって面白かったです。調査のとき、赤や黄色が見えたので何かと思って見てみたらマイマイガのような虫でした。たくさんいました。モリアオガエルやアマガエル、ハシリグモ、イトトンボ類、カナヘビ、ぺちゃんこのマムシの子どももいました。クロサンショウウオもたくさんいたのでびっくりしました。

# 6月20日 草とり・生きもの調査・ご飯炊き

レポート：理仁、麻里子



い〜お天気、草とり日和です



まずは手取りでの草とり



除草機も出動



江<sup>え</sup>の生きものとなっている隊員

草とり活動は晴天でした。田んぼの天てきであるクログワイをとりました。クログワイの球根が残っているとまた生えるので、がんばってとりました。やっと終わったと思ったら今度は除草きで2回目の草とり。二人でがんばって押しました。草取りが終わったらまちにまった生きもの調査。今日のしゅうかくは、大量のドジョウとオタマジャクシとメダカ、ザリガニ4匹とクロサンショウウオです。ザリガニは田んぼに穴をあけるので、くじよしました。

# 9月26日 稲刈り



レポート：歩実、ちひろ、那月、夢琉



鎌を使って手刈りです



稲刈りになれてる先輩は早い早い



コンバインひもでしばります



しばった稲ははざがけに

秋になると稲刈りです。手作業で行いました。Kidsの田んぼは林に囲まれている水がぬけにくい田んぼなので、秋なのに足がはまって大変でした。そして刈った稲を交差させてしばりました。最初はなれなくて大変だったけど、だんだんと簡単にできるようになりました。結んだらはざがけをしました。稲刈りの作業は楽しかったです。雷で田んぼから帰るときに、小さな水路に20cmを超える大きなモクズガニがいたのでおどろきました。

# 10月10日 脱穀作業・生きもの調査 ご飯炊き



レポート：瑠華、倅啓、啓、啓太



2週間天日干しの Kids 米だっこくを脱穀



わらは田んぼに均等にまく



籾がらを使ってのご飯炊き



新米のご飯はつやつやあつあつ

コンバインを使って米つぶとわらに分けました。次の年に良いお米が出来るように、栄養となるわらをまきました。みんなで生きものを探していると、朝のじゃんけん戦で勝ち抜いた「ご飯炊きチーム」が炊いているごはんのいいにおいがしてきました。釜をのぞいたら、おこげがついていておいしそうでした。

※ 9/26の稲刈りでは、作業をはじめてすぐに遠雷鳴り出したため屋内避難に。生きもの調査はナシとなりました。残った稲はスタッフ3人で1日半かけて手刈り・はざがけをし、無事に脱穀作業の日をむかえることができました。

# 10月24日 収穫祭・米売り準備



レポート：Kids スタッフ

やる事もりだくさんの収穫祭。集中して協力して全達成！



グループで田んぼ日記の作文書き



米売りのためのイラスト描き



収穫祭準備、こちらはデザート班



カレー班。タマネギにも負けないっ！



外ではぬか釜でご飯炊き



自分たちでつくったご飯はおいしー

# 5/15 田んぼアート交流会・田植え



レポート：  
柚葉、夏帆、ルナ



難易度高い絵をまかされました



田んぼアートの田植えで私たち Kids が担当したのは、おばあさんの部分。他の色とまざらないようにそろえて植えるのは大変でした。植え終わったときはくたくたになったけど、楽しかったです。どんな絵ができるのか楽しみです。

# 10/2 田んぼアート交流会・稲刈り



レポート：  
エメ、統惺



バケツ山盛りのザリガニ



良いお天気となりました

田んぼアートの稲刈りは、友達といっしょに刈れて楽しかったけど、人がいっぱいいて刈りにくかったです。ザリガニがたくさんいました。ザリガニは農家にとって、あぜをほられて水もれがするので、有害です。

# バケツで稲を育てる

新型コロナでみんなでの活動が止まっても、米づくりを続けられるように、各家庭でバケツ稲も育てました。



4月中旬 種籾まき



4月下旬 芽が出た！



5月中旬 バケツへ



6月下旬 葉っぱ青々



8月下旬 花咲きました！  
(虹湖隊員)



9月 雀対策ばっちりです  
(創隊員)

# 川の生きもの調査

みんな大好きな川の活動は、アブ多数発生のため残念ながら中止に。来年こそ来たいですね。



副隊長 隊長 副隊長  
本間ルナ (小5) 佐藤碧琉 (小6) 佐々木陽士 (小6)

佐藤碧琉隊長：僕はこの活動で、自分が住む佐渡の魅力や自然の大切さを学びながらお米を育ててきました。これまでの様々な体験を通して、佐渡はすごい所なんだと改めて実感するようになりました。隊長としては、作業における分かりやすい説明やみんなをまとめることに心がけ、責任感をもって取り組んできました。これからも生きものや自然にやさしく、環境に配慮した取り組みを続けていきたいです。コロナウィルスの影響で活動が制限されているけど、これからもみんな楽しんで活動していきたいです。

佐々木陽士副隊長：ぼくはキッズ生きもの調査隊で農業の楽しさを感じました。田んぼの仕事をしているときは大変だけど終わったとき達成感があります。それと、いろいろな地区の小・中学校から人が集まり、たくさんの人と楽しくしゃべりながら体験できました。この活動では農業や生きもののお話を学べるのでこれからもたくさんの人に参加してほしいです。

本間ルナ副隊長：一番印象に残っている活動は、田んぼアートの田植えです。みんなで苗の植える場所を間違えないよう、ていねいに作業しました。生きもの調査では、田んぼや草むらでトキのエサとなる生きものをたくさん見つけました。この活動を通して、私は共同作業の大切さと、人とトキ、生きものとの共生について学びました。今後もみんな楽しんで活動していきたいです。

「佐渡 Kids 生きもの調査隊」は、14年目となる佐渡市の事業で、  
（一社）佐渡生きもの語り研究所が企画・運営をしています。  
佐渡島内の小学3～6年生を対象に、自然栽培（無農薬・無肥料）  
の生きものに優しいお米づくりや生きもの調査を通して、農家さんが育む  
「田んぼの世界」を学ぶ1年間のプログラムです。

（毎年4月募集・各小学校より案内が配布されます）

## Kidsの活動はこちらから↓

（facebook登録をしなくても見ることができます）



佐渡 Kids 生きもの調査隊

検索



佐渡市・（一社）佐渡生きもの語り研究所